

2012

CHALLENGE REPORT

- ※チャートを見ながらインタビューします。
- ※チャートの高いところでは何があったのか
- ※そのときどうイキイキと楽しかったのか
- ※具体的にどんな人とどんなことをしたのか
- ※どう感じていたのか
- ※シートにそって「必ず」記入すること！

2012 年度せと・しごと塾第 5 期総括



絶えざる挑戦

起業は危ないもの。

特殊な人だけが目指すもの。

私なんか縁がないもの。

そう思っていた人たちがしごと塾に集う。

ノウハウを教えてもらうはずが、

自分でやることばかり。

家の中では、調べ物。

外に出たら、新しい世界へ飛び込む。

塾のなかではプレゼンばかり。

いつの間にか度胸が身についていた。

元気な塾生仲間に囲まれながら、

みなさまが、元気になる。

そして、家族が、地域が元気になる。

そんな笑顔の循環をつくりたい。

しごと塾は、これから新たな挑戦をする

みなさまを応援します！

CONTENTS

SETO SHIGOTO JUKU 2012 CHALLENGE REPORT

- 2 INDEX
目次
- 3 About
せと・しごと塾の概要
- 4 Curriculum
せと・しごと塾のカリキュラム
- 5 Welcome!!
ようこそしごと塾へ！
- 6 Thinking Time!
グループワーク
- 7 Business plan
緊張の中間発表会
- 9 Entre-Ability Development
能力開発コンテンツの数々
- 11 Graduation
大盛況に終わった発表会
- 12 Variety & Diversity
開業者の事業を紹介
- 13 Feedback
5期生アンケート結果

1. 塾生の構成

せと・しごと塾は、第5期の終了時(2012年12月)、卒塾生の数が93名(1期17名、2期18名、3期27名、4期13名、5期18名)となった。うち男性が32名(34.4%)、女性が61名(65.6%)と、女性が男性の2倍となっている。



(5期生高嶋さん手作りタルト)

2. 開業者数

第5期終了時点での開業者数は卒塾生93名のうち40名(43%、入塾時からの開業者数13名含む)。平成24年の開業者のうち、次の4社については、瀬戸市のホームページに詳細情報を掲載中。

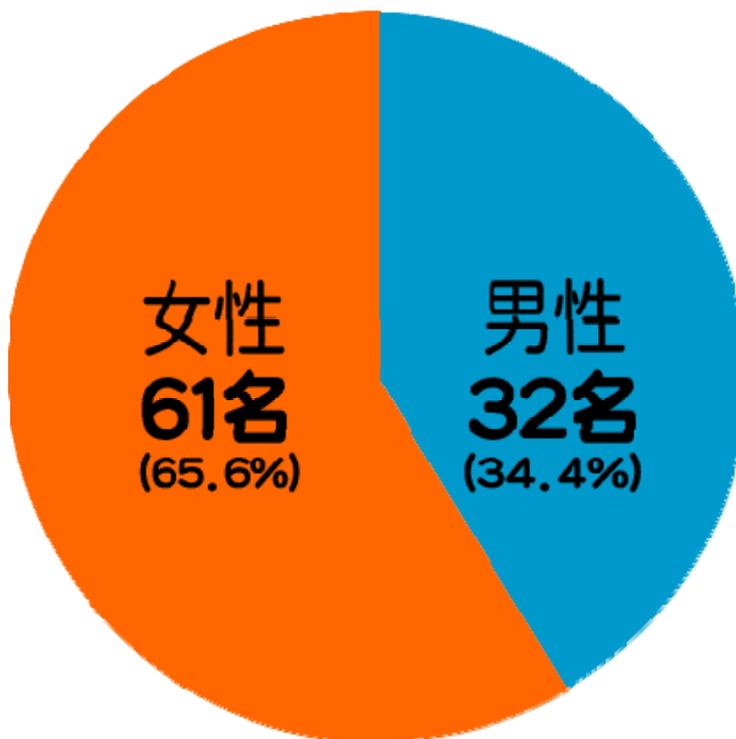
<http://www.city.seto.aichi.jp/docs/2010111003214/>

- (1) ルワンダの貧困緩和と国内メンタル失調者の社会復帰を同時に解決！
就労移行支援施設『一般社団法人 仕事ノアル暮らし』
- (2) Webでラクラク景品手配『幹事たかしま』
- (3) パソコン教室などの教育学習支援事業『あいちパソコ株式会社』
- (4) 農作業や軽作業を通じた生活介護を提供します！

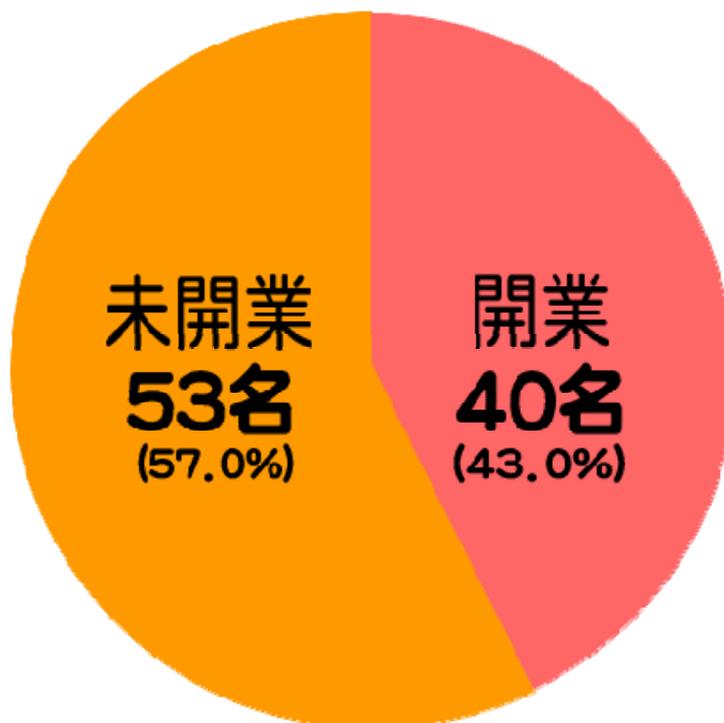
障がい福祉サービス事業所『らいむ畑』
(合同会社ハーモニー)



(2012.4.5「仕事ノアル暮らし」開所式)



せと・しごと塾卒塾生の人数(男女別)
(2012.12月 第5期終了時点)



開業者数
(2012.12月 第5期終了時点)

Program

夢をかなえるしくみづくり

せと・しごと塾では、2008年の開講以来、塾生の夢を叶えるためのカリキュラムを常に模索している。塾生の自立と行動を促し、自分で夢への一歩を踏み出すような「しくみ」をつくることが重要なミッションとしている。

入塾後、自己の棚卸をし、起業家精神を養成する機会が設けられている。7月のグループワークを通じて、他の塾生とのコミュニケーションを図る。

中間事業計画発表会、プレゼンテーション講座、卒塾時の事業計画発表会と、プレゼンの機会が多く設けられている。自分自身を表現することを繰り返し、徐々に人前で話す自信がつくようになる。

これに加えて7月から12月まで、16回の個別相談日が置かれている。個別相談は卒塾生も利用可能で、卒塾後のサポートも行っている。

第5期カリキュラム

★座学・ワークカリキュラム

- 7/2 開講式
せと・しごと塾について
創業に向けて
- 7/6 起業家の心構え (澤芳美)
- 7/10 キャリアデザイン講座 (柴田朋子)
- 7/12 起業家スキルアップ講座 (小坂英雄)
- 7/17 } <事業計画作成知識>
- 7/19 } ・経営理念 ・事業領域 ・自己の棚卸 ・競合調査 ・資金計画
- 7/24 } ・マーケティング ・プロモーションミックス ・損益計画 など
- 7/26 } <グループワーク>
- 7/31 } ・4つのグループに分かれて事業計画書を作成
- 8/2 } (瀬戸金融協会・瀬戸信用金庫)
- 8/8 }
- 8/30 事業概要発表会 (3分間のプレゼンテーション)
- 9/6 事業化スケジュール講座 (小坂英雄)
- 9/21 顧客と対話するチラシづくり (柴田朋子)
- 10/4 IT戦略について (小坂英雄)
- 10/18 プレゼンテーション講座 (小坂英雄)
- 11/6 開業手続き、税務・経理知識 (石川一志)
- 11/29 地元経営者の話 (三井恵久美)
- 12/20 事業計画発表会 (5分間のプレゼンテーション)、卒塾式



Supporters

サポーターの顔ぶれ

せと・しごと塾を支えるサポーターは次の通りである (五十音順)。

- 石川一志 (税理士法人ちゅうぶ税経)
- 小木曾基嗣 (瀬戸市)
- 小坂英雄 (塾長、起業経営研究所)
- 小林甲一 (名古屋学院大学経済学部教授)
- 酒向清治 (瀬戸金融協会)
- 佐野真隆 (瀬戸金融協会)
- 澤芳美 (さわ経営研究所)
- 柴田朋子 (瀬戸市)
- 三井恵久美 (アージュインターナショナル)

★サポート団体

- 産業支援センターせと
- 瀬戸市役所産業課
- 瀬戸商工会議所



石川一志



小木曾基嗣



小坂英雄



小林甲一



酒向清治



佐野真隆



澤芳美



柴田朋子



三井恵久美

Welcome!!

第5期は18名が入塾

7月2日は、せと・しごと塾の第5期の開講式が瀬戸蔵にて行われた。5期生として18名が入塾した。開講式では、関係者が列席する中、増岡瀬戸市長より激励のメッセージが贈られた。



次に、顧問の小林甲一氏（名古屋学院大学経済学部教授）の講演『せと・しごと塾』に込めた想い、それに託した政策理念が行われた。講演内容は、働くことの意味、せと・しごと塾による地域づくりについてなど。その中で、地域雇用創造に向けた新たな地域モデルとして、次の3点が大きな成果として紹介されている。

- ①「塾」に相応しく、「ひと」と「ひと」の間で育み、「ひと」から「ひと」へとつながっていく雰囲気が醸成されている。
- ②塾生の中に、「しごとづくり」と重ね合わせながら自分の将来を見つめ、自分の「しごと」を創造しようとする力が溢れている。
- ③塾生の多くが、自然な形で地域への想いを抱き、地域のニーズに応え、地域の資源を活かし、地域に根ざした事業を展開しようと考えている。

小林氏は講演の最後に、「せと・しごと塾は、瀬戸市にとっても新たな地域づくりの拠点となりつつあることも明らかで、地域創造の精神や地域の知恵が、瀬戸市の地域力向上に資することを信じてやまない」と締めくくった。

恒例の名刺交換ゲーム

次に、小坂英雄氏（塾長）による講演「創業に向けて」が行われた。講演の冒頭では、しごと塾では恒例となった名刺交換ゲームが行われた（写真）。初めて顔を合わせる人が大半の中、最初は緊張している様子も見られたが、徐々に打ち解けていき、それぞれの塾生がほぼ全員と話すことができた。

他には、創業の失敗例、創業に必要な準備、起業のポイントなどの解説が

された。受講後「何でもないようなところにチャンスがある、自分が行動しなければ何も起こらない、という言葉は本当に心に残り、もっと積極的に行動しなければいけないとつくづく思った」、「名刺交換ゲームでは、他のみなさんと向かい合った時にエネルギーをたくさん感じた」、「こどもが成長する一週間の中で、自分はどれだけ成長できたか？この意識を持って鍛錬していきたい」などの感想があった。

5期生歓迎会

開講式の長い一日を最後に締めくくったのは、5期生歓迎会。卒塾生や事務局スタッフ、講師陣も加わり、盛大に行われた。卒塾生は開業者も多く参加し、5期生の不安を解決すべく、親身にアドバイスをしていた。いよいよ5期生の挑戦が始まる。



第5期の新しい取り組み

第1期から第4期までの成果と反省を活かし、第5期の新しい取り組みとして、大きく次の4点を実施することとなった。

①能力開発コンテンツの追加

（ねらい）思考フレームワークを早期に学習し、7月のグループワークでアウトプットしながら身につけていくことを目的とする。よりグループワークの時間を充実したものにできる。

②キャリア講座の追加

（ねらい）起業と自分自身の人生のキャリアは密接に関連している。自分を分析し、しっかり見つめ直すことで、強みや弱みとどう向き合い起業準備をしていくかを考えていく。

③起業家養成 OUTPUT 講座開催

（ねらい）知識はインプットした後、できるだけ早い時期にアウトプットすることにより定着する。そのアウトプットの場を相談日の時間終了後に設ける取り組みを行った。「ブレインライティング」、「シックスハット」などの思考フレームワークを実践。卒塾までに14回、23テーマを実施。

④テキスト「起業の50ステップ」改良

（ねらい）第2期より使用しているテキストを改良。能力開発コンテンツを第2章として大幅加筆した。分量は222ページ。しごと塾の補助資料として必要時に利用することができるよう、5期生に配布した。



Thinking time!!

グループワーク

せと・しごと塾の名物でもある事業計画書作成グループワークが、7月から8月にかけて7回にわたり実施された。講師は瀬戸金融協会の佐野真隆氏、酒向清治氏が務めた。このグループワークは、有意義な時間を共有することにより、塾生同士の懇親が深まり、お互いを尊重し合う雰囲気醸成される、しごと塾のカリキュラムの中でも重要な時間である。

深夜まで打ち合わせをしていたチームがあった。それほど熱心に取り組んでいたという証である。4チームすべての事業が机の上の疑似事業計画ではなく、「ぜひ実現させたい!」というもので、その意気込み、本気度が伝わってきた。

最終日の8月8日には、グループワークの集大成ともいえる発表会が開催された。以下は各チームへの塾長コメント。

1. 「瀬戸焼きそばのネット販売」

経営理念の表現方法を考えてください。「心に残る」・・・心に残る為の工夫、仕掛けが必要です。「おいしさとまごころ」・・・どう美味しいか、どんな点にまごころを感じてもらうか。経営理念に対し、説明責任を果たさなければなりません。それができれば、お客様から共感が得られるでしょう。肝心な「お客様」（購入者）のリサーチが必要です。どんなものを求めているのか、この商品が売れるのか、調査が必要です。ミクロとマクロ、両面で行うと良いでしょう。とはいえ、全般的にリサーチは短期間にもかかわらず、かなり突っ込んで実施していたと思います。素晴らしい!



2. 「烏骨鶏の卵販売」

安全性の確保。これが崩れたら事業が崩壊しますので、この事業の大前提となります。

「烏骨鶏が可愛い」ということを伝えなければなりません。どんなに可愛がっているか、笑いが起こるくらいのネタを用意するとよいでしょう。「幸せな鶏」。そこまで可愛がってもらえるのなら幸せに違いない、というレベルにまで高めてほしいものです。卵の食べ方も提案してほしいですね。既存の食べ方とは違うものが望ましいです。



3. ご当地ヒーローによる地域活性化

まず、寸劇最高でした!あの突然の無茶振りに対応してあれだけの笑いを取ったことは素晴らしい!

経営理念の「郷土愛を育む」、なぜ郷土愛が育つのか、そのための仕掛けは何ですか? 理由付けが必要です。他のヒーローもので扱っていない分野を探してほしいものです。イケメン俳優は相当出ていますので、何か違った視点が欲しいところです(具体的な案についてはここでは掲載しません。発表時にコメントした通りです)。スポンサーからの収入が、1,000万円以上いただけるようなモデルを考えてください。これを考えることがブレイクスルーの可能性を向上させます。数十万円の規模で考えていると、事業計画もごちゃまじりとした、目立たないものになってしまうでしょう。



4. 体験型農業

経営理念の「健やかな心と体を育む」。農業ということで、何となくそうかな〜と思うものの、今一つ説得力がないので、この理由付けを考えてください。せと・しごと塾でも、「健全な起業家精神の育成、成長」を考えていますが、一つの答えとして、「コミュニティの中で学びあう」ということが挙げられます。他人に対して何かしてあげる。それにより自分の存在感、自分の居場所を作っていく。他者から刺激を受ける、他者と切磋琢磨する、など。一人で黙々と農作業を行うのも良いのですが、集団の中で学びあう仕組みを提供してみたいかがでしょうか? 事業の名称に「ファミリー」とありましたので、ファミリーを作っていくようなサービスとするのも面白そうです。このとき、利用者にとっても都合よく使ってもらうだけでは、健全なコミュニティが成立しないでしょう。ある程度制約や義務を課し、その中でコミュニティに所属するメンバーが過ごしていかないと、継続性が失われるでしょう(別に行かなくてもいいや、となってしまう)。



Business plan

緊張の中間発表会 塾長コメント

1. ひきこもり支援（藤井さん）

思い切って、「ひきこもり」というキーワードを使わずに、ひきこもりの解決に至るような仕組みができないかと期待したいと思います。それには、取得資格であるFPが役に立つかもしれません。その他のご経験や特技かもしれません。ひきこもりでない方と、ひきこもりの方が共存するコミュニティがあっても良いのではないのでしょうか。

2. 食育スクール（有田さん）

「適食力」という言葉は初めて聞きました。私も身に付けたいものです。スクールの目玉が欲しいですね。2校目、3校目をお考えということであれば、「こういうスクールなんです！」と自信を持って、分かりやすく伝えることのできる特徴を作りたいですね。

3. 企画相談・営業代行（若杉さん）

前職での商品企画の実際の成功例、事例が知りたいですね。これで説得力が倍増するでしょう。例えば、保険の場合、他社とあまり違いがない中、どのように選んでもらっているか、これは良い事例になるのでは。「売りに行ったときに断られるとへこむ」という社長の代わりに商品を売ってあげること、また、そのような人たちの精神力を強くしてあげることも付加価値として事業展開可能なのではないのでしょうか。

4. 焼き菓子の販売（高嶋さん）

美味しいタルト、ご馳走様でした。前回に引き続き私の好みを採り入れていただき、嬉しい限りでございます。事業コンセプトと課題、とても明確になっています。素晴らしいと思います。今回の試作品は見た目もきれいですし、暑い夏に「ひんやり感」を出す工夫もされていて、しかも具だくさんという特徴もあり、十分商品化可能だと思いますよ！

5. がん患者さんのための相談窓口（水野さん）

がん患者さんの情報入手経路、情報交換できるコミュニティの構築が望まれます。患者さんが、自分で納得できる治療法を選ぶことができればハッピーですね。まずは、既に存在している団体がサポートしていること、そして空白となっている部分を探してみたいかながでしょうか。「協働」が重要となるでしょう。

6. ハンドメイド雑貨の移動販売（山田さん）

「接客が天職！」何と素晴らしいことでしょう。だから対面販売にこだわる。一本芯が通っていて私は大好きです。もちろん商売としては効率が落ちますが、理念を大事にしていきたいと思います。何より、ご自身が事業を楽しんでいるということが素晴らしいですね！

7. せと焼きそばのネット販売（檀上さん）

「瀬戸が大好き！」こういう方がいらっしゃるということがまず素敵です。

おみやげは「This is Seto!」という「ベタ」（コテコテ）なものが良いのでは。中途半端に品の良いものでは話題性もないし、そこそこの結果に終わってしまう気がします（私の出身大学では、留学生に「〇〇大学」という文字の入ったTシャツがよく売れていました。日本人は買いませんが）。せともの祭りでの出店も、大きな成果をあげてを期待しています。あと、味で勝負するのも一つのやり方ですが、「楽しさ」という切り口で事業を考えていただくのも良いと思います。ご自身がとことん楽しんでください。

8. パステル画教室・カウンセリング（廣瀬さん）

コミュニケーション×パステル画、というテーマで何かサービスメニューを作りたいですね。あと、学校でパステル画講座が実現するのではないかと思います。キャリア講座に講師として参加するなど、アプローチをしてみたいかながでしょうか。私も創業塾の受講者の方から娘の誕生祝いに素敵なハートのパステル画をいただきました。大事に飾っていますよ！

9. 利益体質のとうふ屋（山内さん）

ターゲットを再確認してください。今までのお客様の声も集約し、誰が買ってくれるのか、なぜ買ってくれているのかを明確にしてください。個人向け以外にも、実は本当のターゲットが存在するかもしれません。受賞歴を見ても、世間の評価は間違いはないはずなので、販売ルート、プロモーション、それと原価管理、しっかり構築していきたいでしょう。





(塾長コメント続き)

10. 烏骨鶏の採卵養鶏と循環型農業 (森田さん)

「烏骨鶏がカワイイ」「だから肉はさばきたくない」、つかみは抜群ですね！森田さんのキャラでファンができると思います。卵を販売する以外にも、見学ツアーなど事業プランはありそうですね（その他発表会時にお伝えした通りです）。

11. 手作りの焼き菓子、パンと手作り雑貨販売 (坊山さん)

お子様も壇上に来てプレゼンなさいました。子連れで活動できる環境というのは私も作っていきたくて考えております。社会が普通に受け入れるような環境になっていけばと思います。事業ですが、パンの特徴が欲しいですね。口コミが広がる時、どんな特徴があるか、言葉にできることが条件となります。ワインで言えば、「ソムリエがドンペリと間違えたスパークリングワイン」など、短い表現で分かりやすく通じるものがあればいいですね。

12. 木質バイオマス普及促進事業 (胡桃澤さん)

大学との連携は効果的だと思います。今まで実績がなければ、多くの知見が得られるでしょう。バイオマスの良さ、そして商品（群）の良さ、最後に「自社の売り」、これを備えなければなりません。プレゼンではバイオマスについてのみ触れていましたので、これからしっかり「自社の売り」まで作り上げてください。そのためには継続的な商品企画・開発ですね！

13. 総合結婚相談サービス (小川さん)

従来のサービスとは異なる切り口で事業を構築していただけたらと思います。最大の目的がカップルを作ることであれば、その解決の手法はいわゆる「婚活サービス」ではないかもしれません。幅広く事業を模索していきましょう！

小川さんのコメント力について会場で話題になりましたが、私も感動した一人ですよ。

14. 無農薬・無化学肥料の農業 (丹羽さん)

農業が好き！好きなことを仕事にできるのは素晴らしいです！お客様に選んでいただける野菜、そしてリピートしていただけるよう、しっかりお客様の方を向いて事業を進めてください。体を壊したら元も子もないので、くれぐれも無理をなさらないようにお願いします。

15. 地域における子供たちの活動活性化支援組織 (西野さん)

親御さんや子供たちに楽しさや充実感を与えるようなコンセプトが欲しいですね。それはスポーツを通じて体力づくりをするのか、自立心を養うのか、コミュニケーションを取れるようにするのか。そして、それらのコンセプトを実現している団体、事例を調べていただきたいと思います。きっとたくさん出てくるでしょう。「子供会」に限定せず、塾や行政の取り組みなど、いろいろヒントがあるでしょう。地元瀬戸ということであれば、中期計画等に沿

ったものであれば、受け入れられやすくなると思います。

16. 心も体も元気になるヨガの普及 (藤原さん)

ターゲットとなるお客様が多く集まる場所へのアプローチが効果的です。公民館や整体院などがこれにあたるのではないのでしょうか。あと、早朝ヨガなどの文化も作ってはいかがでしょうか（ラジオ体操やランニングみたいに）。病院から紹介がいただけるくらいのレベルに仕上げれば、事業の発展が見えてきます。

17. ご当地ヒーローによる地域活性化事業 (尾方さん)

プレゼンの表紙がいきなり面白いですね！

ご当地ヒーローを生み出すプロデューサーという路線の方が個人的には面白いと思います。瀬戸を盛り上げたいという心意気はたいへん嬉しいのですが、事業の発展を考えると、地域おこしのパッケージを作り上げるのが、より多くの笑顔を作る結果になると思います。

以上、塾長コメントでした。これだけ聴衆がいるなかでのプレゼンテーションは初めてという方も多かったと思いますが、皆堂々と発表していました。数多くの発表の機会により、徐々に場慣れしており、頼もしく感じました！

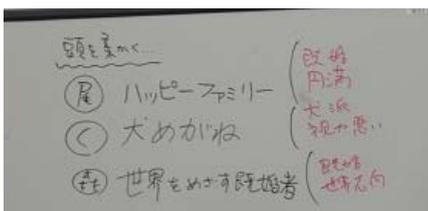
Entre-Ability Development

能力開発コンテンツの数々

1. 起業家脳養成講座

しごと塾開講直後の7/12に「起業家スキル UP 講座」が開催された。第5期からの新しい講座で、知恵を絞ってビジネスアイデアをどのように出していくか、その手法を身につけることを目的とする。起業家としての「思考フレームワーク」をいくつも持つことにより、獨創性や発想力を磨く機会となった。塾生が入塾時に持っていたアイデアはイノベーション（創造的破壊）が必要である。起業家スキル UP 講座の内容を以下に紹介する。

(1) チーム名を5分で決める！



まずは3チーム、チーム名を5分で決めていただくというワークからスタート。ただチーム名を決めるのではなく、「メンバーの共通項を探して、名称を決めてください」というもの。3チーム、決まったのが、「ハッピーファミリー」「犬めがね」「世界を目指す既婚者」です。特に2つ以上の共通項を出すような要求もしていないのに、各チームの案は偶然にもキーワード2つの組み合わせとなった。



(2) ブレーンライティング



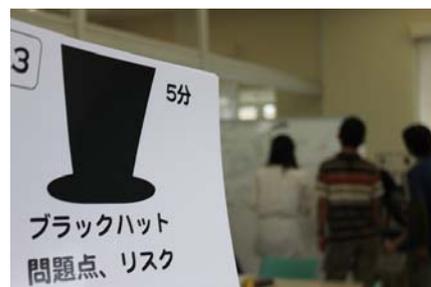
次に、ブレーンライティングを実施。全員が初めての経験。お題は「チームに200万円の資金が与えられました。これを、1年で1000万円に増やす方法を考えてください。」というもの。まずそれぞれ配布したシートの最上部3か所に自分のアイデアを3つ書き、3分経過したら、時計回りに隣の人にそのシートを回す。シートをもらったら、2段目に、前の人が書いたアイデアを改良するようなアイデアを加えていく。大きく分けて、ビジネス、ギャンブル、株式等への投資が上がっていました。このブレーンライティング、アイデアのスタート地点が他者ということで、3分ごとに「何が出るかな？」という刺激的な時間を過ごすことができるのが特徴である。短時間で思考をリセットするという刺激を経験することができる。

ブレーンライティングは予想以上の反響があり、来期につながる手ごたえを得ることとなった。

(3) パーパスリスト

「なぜ起業するのか」を突き詰めてみるワークである。起業はお金のため？ 何のため？ なかなか深く考える機会は多くないと思われる。5分という短い時間で、手段-目的-上位目的-最上位目的を整理していただく機会を設けた。全般的に、ワーク時間を短く置いているのがしごと塾能力開発の特徴である。

(4) シックスハット



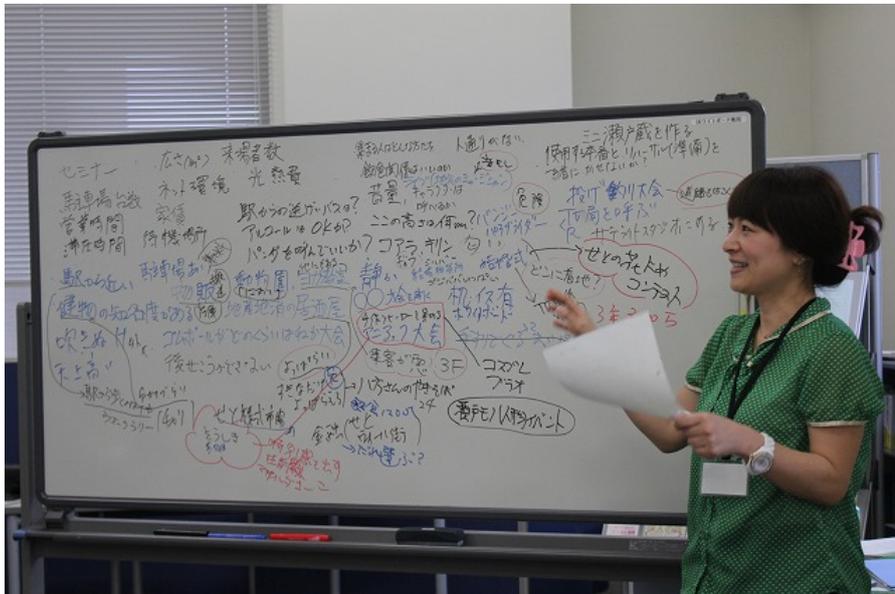
午後の部は今回のメインディッシュ、「シックスハット」。2011年は各支援機関で9回実施した、人気の講座である。今回は、「せと・しごと塾の会場である産業支援センターの場所を3年間使えることになりました。チームには3,000万円が与えられ、3年でチームの預金口座を1億円にしてください。」というミッションが与えられた。塾生の中でシックスハット経験者は3名。

チームによっては、キーワードを並べたり、矢印で関連するものをつなげたりと、特徴が出ていた。みなが一気にアイデアを出すチーム、全員のコンセンサスを確認めるようにゆっくり進んでいくチーム、これもまた見ていて興味深い結果となった。



シックスハットは、白・黄・黒・緑・赤・青の順番で実施。青は10分、それ以外はそれぞれ5分。最後に10分弱まとめの時間を設け、全部で45分くらいと、短時間でどこまでアイデアが出てくるかという訓練である。





「せと・しごと塾の会場である産業支援センターの場所を3年間使えることになりました。チームには3,000万円が与えられ、3年でチームの預金口座を1億円にしてください」というお題に関しては、次のような結果となった。

①「ハッピーファミリー」チームの発表。「高級会員制クラブ」を軸にしたプラン。入会金を先にもらえば、1億円の道は近いかも。

②「犬めがね」チームは「人間力養成の場」というプラン。公益的な色彩も持つ事業で、助成金を視野に入れたもの。1億円規模の補助金を受け取る事業なら、つなぎ融資で「1億円の預金残高」はクリアかもしれない。今回のお題、わざと「預金残高1億円」としてあるので、一時的に1億円があればミッションクリアとなる。そこに気づいた方はどれくらいいらっしゃったか？そうだとわかれば、少し事業計画、収益性の敷居が下がります（現実的に意味があるかどうかは別として）。このあたりも、ワークの中に、「頭を柔らかくして考えてみる」という要素が含まれている。

③「世界をめざす既婚者」チームは、「世界に一つのお葬式」。その一つとして、「ガンダム婚」というアイデアが出た。そのモデルハウスのようなものも作るという、ビジネスアイデアであった。こういう「極端な操作をしてみる」というのも、アイデア出しでは多用される。

(5) その他の思考フレームワーク
上記の他に、KJ法、サーチアンドリプライ、マインドマップ、MECE、ロジックツリーの解説をして講座は終了した。今回のような思考フレームワークを知っておくことで、アイデアの引き出しを大きくすることもできるし、全員が目的意識を持って参加することにより、会議時間の短縮にもつながる。会議の際に、「他者の時間も使っている」という感覚を持つだけでも、コミュニケーション能力が大きく向上するであろう。次期以降も積極的に実施していきたい。

1 ルール1 決められた観点 で意見を出す

それぞれの「帽子」の時間は、次の観点でアイデア出し、意見を述べる時間とルールを決めるのが特徴である。

- ①白い帽子…客観的なデータ、統計、事実など（ここでは判断、提案などをしない）
- ②黄色い帽子…ポジティブな視点。プラス思考、アイデアの利点など
- ③黒い帽子…ネガティブな視点。リスク、懸念など
- ④緑の帽子…革新的な視点。新しい代替案、斬新なアイデア、リスクを乗り越える方法
- ⑤赤い帽子…感情的な視点。直感、好き嫌いなど
- ⑥青い帽子…まとめ的な視点。結果のまとめ

例えば、緑の帽子の時間にネガティブな意見やリスクについて言及するのは「禁止」となるのである。会議は、ともすればネガティブワードのオンパレードとなりやすいので、こういう思考を一定時間に封じ込める絶大な効果がある。また、赤の帽子の時間では、上下関係があると言えないような「私はそれキライ」などという感情的な意見も、言えるのである。社内でシックスハットを実施すると効果的なのは、これも一因である。参加者がスッキリするので、満足度も上がるのである。

2 ルール2 時間は厳守 基本は5分

各帽子の時間は基本5分。時間厳守で次の帽子に移行する。全員がルールを守ることで、健全な会議を実施することができる。ファシリテーターを置くと、このルールは守られ、参加者も安心して次のステップに進むことができる。

3 ルール3 全員がペンを持ち 座らず議論する

シックスハットを実施する際に重要なのは、1人が板書するのではなく、全員がペンを持っていつでも意見を書けるようにし、椅子に座らないルールである。板書する人に伝言する時間は無駄であり、椅子に座ると、まったりと時間が流れていってしまう。複数人が並行して意見を出し、話し、しかも書きながら耳に入る言葉を聞くという、五感を磨く訓練でもある。従って、1時間足らずのシックスハットでも、疲労感はかなり出ることになる。特に初参加の人は衝撃を受けるかもしれない。

参加者がルールに則ってシックスハットを実施すると、全員参加の会議となり、短時間で驚くほどのアイデアが創出される。

Graduation

大盛況に終わった発表会& 卒塾式

7月に開講したせと・しごと塾の第5期も、ついに12月20日、卒塾式を迎えた。卒塾式に先立ち、事業計画発表会が実施され、5期生18名全員が半年間練り上げた事業計画を発表した。会場の瀬戸蔵（瀬戸市蔵所町）には関係者を含め、およそ100名が来訪。塾生の事業計画を真剣に聴き、名刺交換などの交流も生まれていた。発表会の途中には塾生の商品の試食も行われ、会場が活気に溢れた。

発表の概要は以下の通り（敬称略）。
「新しくできた会社の9割は5年以内に実質倒産状態、結果を出している会社は、良い商品・優れた営業力を持っている。営業力がない会社を支えていきたい。」（若杉）。
「当初は結婚相談所を考えていたが、女性のキャリア支援事業に方向性を変えた。」（小川）。
「食育スクールで『適食力』を身につけてほしい。特に7歳までの食生活が重要。」（有田）。
「通販事業者などの提携が進んでおり、販路開拓中。新商品も開発中。2013年の事業が黒字にならなければ店を閉める！」（山内）。
「定年退職後、こども達を元気にする支援組織をつくりたい。」（西野）



「林業家として自立していきたい。」（胡桃澤）。
「接客が大好き、可愛い雑貨が大好き。作家さんを応援しながら『旅する雑貨屋』になる！」（山田）。
「ここに障害をもつ当事者と家族の方を支援していく事業を立ち上げたい！」（藤井）。
「烏骨鶏（うこっけい）が大好きなんです。烏骨鶏も幸せにするため、卵だけ売っていきたくなんです！」（森田）。
「お菓子をつくるのが大好き。記憶に残る焼菓子を届けたい。」（高嶋）。
「瀬戸のご当地キャラクター、『陶神オリバー』で瀬戸を盛り上げたい！」（尾方）。
「自然農園で収穫した無農薬野菜は甘みが違う。ぜひ食べてみてほしい。」（丹羽）。
「お年寄りでも気軽に楽しめるヨガを展開。ヨガをもっと身近なものにしたい。」（藤原）。
「手作りパン、雑貨販売の仕事を通じて、お母さんの活躍する場を提供したい。」（坊山）。

「パステル画教室を開き、親子のコミュニケーションを提供し、お母さんの悩みも聴いてあげたい。」（廣瀬）。
「がんで悩んでいる方のお話を聴き、情報提供をしていきたい。」（水野）。
「瀬戸焼そば、瀬戸を愛しています！瀬戸焼そば音頭を聴いてください！」（檀上）。

以上18名の発表が終わると、引き続き卒塾式が開催された。増岡瀬戸市長より全員に卒塾証の授与が行われ、塾長より「卒塾後も挑戦を繰り返して、飛躍して行ってほしい。」と激励を受けた。

5期生を代表して「ぼちぼちファーム」の森田高用さんがスピーチ。「知人から勧められ何となく申し込んだしごと塾が、思いがけず楽しい場所となった。素晴らしい仲間ができて、有意義な半年であった」と述べた。チームワーク抜群の5期生の活躍を期待したい。



Variety & Diversity

せと・しごと塾、開業者の事業を紹介します（一部）

1. 「気づき」と「人間力」の教育『一尾塾』（1期生 一尾茂疋）
2. まち・ひと・食卓を結ぶ。『YUI』（1期生 斉藤貴子）
3. 電子工作と電子部品販売の『だいおう堂』（1期生 池野達博）
4. 国産小麦・天然酵母のベーグル専門店『Ubuntu』（1期生 河合陽子）
5. 木工房『玄翁屋』（1期生 山田典幸）
6. 『WEB500』（2期生 田口相）
7. 木工房&木工教室『もくもく楽舎たけちゃん工房』（2期生 高橋武男）
8. 『フォトデザイン・キャラバンサライ』（2期生 林かなこ）
9. マナースクール『フィロソフィ』（2期生 松村智子）
10. 一般社団法人日本介護アロマ協会（2期生 みもりひろ子）
11. 『メディカルアロマ blue.frue』（2期生 青野多美子）
12. ヨガ教室『ルマセニョン』（2期生 稲見亜美）
13. 障がい福祉サービス事業所『らいむ畑』（合同会社ハーモニー、3期生 池田隆浩、池田陽子）
14. オリジナルスタンドグラスの制作『Nijiirō』（3期生 山田貴子）
15. ルワンダの貧困緩和と就労移行支援施設『一般社団法人 仕事ノアル暮らし』（3期生 加藤悦子）
16. 『水野野行政書士事務所』（3期生 水野あい子）
17. 手作りおやつ&スイーツ屋さん『瀬戸花子 噂の・・・！？』（3期生 菱田真由美）
18. 親業に関する講師業『ハッピー・コミュニケーション』（3期生 太田智恵子）
19. 『道の場“悠”』（3期生 細谷奈美江）
20. 『瀬戸本地郵便局』（3期生 伊藤一憲）
21. L'heure du gouter（4期生 上村友理）
22. パソコン教室などの教育学習支援事業『あいちパソコ株式会社』（4期生 三浦隆）
23. Webでラクラク景品手配『幹事たかしま』（4期生 高島淳）
24. 『パソコンのちょこっと先生』（5期生 尾方亮）
25. 手作りとうふ『とうふ屋しろ』（5期生 山内謙次）
26. 『土環自然農園』（5期生 丹羽真一郎）
27. 『ぼちぼちファーム』（5期生 森田高用）





「林業家として自立していきたい!!」 (胡桃澤拓也)

Q1. 入塾する前にどんなことで悩んでいましたか？

自分のアイデアを具体化する上で、
こういった行程や手続きが必要か
わからず、しごと塾で学べたら、と
思いました。

また、実際に起業プランを実現する
過程でこういった障害があり、どう
解決していくかが不透明でした。

Q3. せと・しごと塾の募集を知ってすぐに 申し込みましたか？ しなかったとしたらなぜですか？

授業料もほとんどかからないし、
瀬戸市で開催されるということで
すぐ申し込みを決めました。

Q5. 入塾してみていかがでしたか？

入塾して何が可能で何が
不可能か知りました。
どう生きるべきかの方向性が
定まったものと感じています。

Q7. 塾で自分にとって良かったものは何でしたか？

事業計画書を書くことにより起業の
方向性が変わりました。当初自分が
考えていたものでは十分な収益性を
あげることが出来ないことが分かり
計画の変更の助けになりました。

小坂先生の個人相談では具体的な
アドバイスが聞けて大変感謝です。

Q2. 何で「せと・しごと塾」をはじめて知りましたか？

しごと塾のことは家族の紹介によって
知りました。起業の意志やアイデア
を家族に話していたところ、広報で
起業塾が開催されるという記事が
あったと見つけてくれて、その家族
からしごと塾の存在を聞きました。

Q4. 何が決め手となって申し込みましたか？

自分の起業アイデアを具体的に
進めていくことに、勉強不足から
困難を感じていたので、しごと塾
で学んで実現させたいと思い入塾
を決意しました。

Q6. 入塾して「初めてチャレンジしたこと」「できる ようになったこと」「自分に変化が起きたこと」 など、なるべく多く書き出してください。

人前で話したり、あまり親しくない
人と話すことが苦手でしたが、しご
と塾の発表やグループワークを通じ
てコミュニケーション能力と自信が
養われたと感じています。

またバーベキューを企画するなどし
て、大変でしたが、人の助けがあれば
大概のことは可能だと思いました。



Q8. その他 (自由記入)

しごと塾を通じて友達や人々との関わりを得られたことが大きいと思います。
ここで培うことのできた人脈を生かしてこれからの事業や新たなチャレンジに
まい進していきたいです。



『旅する雑貨屋』 (山田朱音)

Q1. 入塾する前にどんなことで悩んでいましたか？

まだまだ「趣味」の範囲内で活動していたので、しごと塾への敷居が高いと感じていました。

私なんかが入塾していいのか？
それが1番不安でした。

Q3. せと・しごと塾の募集を知ってすぐに申し込みましたか？ しなかったとしたらなぜですか？

Q1の回答の通り、「私なんかが」という思いが強く、ギリギリまで悩みました。

Q5. 入塾してみてもいいかでしたか？

正直、自分と向き合うのが辛かったり凹んだりもしましたが、5期生として入塾できて本当によかったです。5期生のみんなに出逢えたこと、小木曾さん、塾長、講師の皆さんに出逢えたことに感謝しています。

Q7. 塾で自分にとって良かったものは何でしたか？

最初のころは参加できませんでしたが、ミニ講座はとっても良かったです。
(苦手ですが)グループワークも良い経験になりました。

Q8. その他(自由記入)

半年間、本当にありがとうございました。
私の「働くこと」への想い、私にとっての理想の働き方に気づくことができました。
同時に、苦手な事も浮き彫りに・・・。
今後は「伝える力」「表現力」を身につけていきたいです。

Q2. 何で「せと・しごと塾」をはじめて知りましたか？

1番最初に知ったのは、中日新聞さんの記事で。その後、卒塾生の方に勧められ・・・

Q4. 何が決め手となって申し込みましたか？

卒塾生の「今できることは今やらなきゃ後悔するよ！」という一言と、最後はどうふ屋しろさん(5期生)がポンと背中を押してくれたから。

Q6. 入塾して「初めてチャレンジしたこと」「できるようになったこと」「自分に変化が起きたこと」など、なるべく多く書き出してください。

自分と向き合えたこと。

少しだけ、自分を好きになれたこと。

お店を持つこと(起業)が自分の本当にしたいことではない、と気づけたこと





手作りとうふ『とうふ屋しろ』 (山内謙次)

Q1. 入塾する前にどんなことで悩んでいましたか？

開業して数年経過しているけれど本当に入塾して役に立つことがあるのか不安でした。

入塾しても卒塾するまでキチンと授業にでられるか心配でした。

Q3. せと・しごと塾の募集を知ってすぐに申し込みましたか？ しなかったとしたらなぜですか？

入塾出来る余裕が無かった
(金銭的に辛く日々の追われていた為)

Q5. 入塾してみていかがでしたか？

正直皆の考えがポジティブで辛かった。
(現実を見ている分、自分の必要性がみえなかった)
開業する前に知っていればこんな苦労をしないで良かったのにと後悔です。

Q7. 塾で自分にとって良かったものは何でしたか？

- ・ 卒塾しても受け逃した講座が受けられる事。
- ・ ミニ講座
- ・ 相談日のシステム
- ・ グループワーク

Q8. その他 (自由記入)

授業は半年で終了ですがそれ以降も継続して皆と繋がりが持て、お互い少しずつ成長できるシステムは本当に有難いです。

ただ卒塾だけではない大切なことだと思うので継続をお願いします。

Q2. 何で「せと・しごと塾」をはじめて知りましたか？

- ・ 知り合いの沖ヨガの講師
- ・ しごと塾1期生の河合陽子さん

Q4. 何が決め手となって申し込みましたか？

開業5年まで入塾がOKだったこと。
今年入塾しなかったら二度と入塾しないと思っていたから。

Q6. 入塾して「初めてチャレンジしたこと」「できるようになったこと」「自分に変化が起きたこと」など、なるべく多く書き出してください。

- ・ 色々な発想の転換。
- ・ 販売先の見直し。
- ・ 前向きに考えるようになった。



小規模企業・個人事業の コンサルティング・営業代行 (若杉愛)

Q1. 入塾する前にどんなことで悩んでいましたか？

資金確保もできないので、どんな形で起業していくと、資本無しで起業できるのか？を悩みました。

Q3. せと・しごと塾の募集を知ってすぐに申し込みしましたか？しなかったとしたらなぜですか？

時間的に仕事との両立が可能なのが不安でした。

Q5. 入塾してみていかがでしたか？

カリキュラムがしっかりしている、と感心しました。
・・・と、自分と同じように、日中にプラプラ出てこれる方が多くびっくりしました(笑)

Q7. 塾で自分にとって良かったものは何でしたか？

小坂先生の基本があってこそ！ではありますが、講師で訪れる先生方の個性的なお話。

「会い・話す」のプロのお仕事をたくさん拝見することができ、勉強になりました。

Q2. 何で「せと・しごと塾」をはじめて知りましたか？

フェイスブックにて、知り合った方が、なにやら起業塾に通っていることを知り、興味を持って、お伺いしたところご紹介いただきました。

Q4. 何が決め手となって申し込みましたか？

転職と重なり、時間的に可能な様子になったため。
小坂先生のセミナー(?)に参加し、先生のお話に「学ぶべき」を確信したため。

Q6. 入塾して「初めてチャレンジしたこと」「できるようになったこと」「自分に変化が起きたこと」など、なるべく多く書き出してください。

必要に迫られ、パワーポイントを少し触れるようになりました。



Q8. その他(自由記入)

良い機会を得ることができ、感謝しております。振り返ると、足りなかった！という思いが強くなってきています。もっと、下準備をしたうえで参加できれば、より多くのものを吸収できたのでは？と感じています。

発表までは、終了しましたが、今からどうするのか？に思いをめぐらせ、何かを発信できるようになればと考えています。

乞うご期待ください！

出産・育児期女性のキャリア支援 (小川美穂)

Q1. 入塾する前にどんなことで悩んでいましたか?

創業を希望しているものの、漠然としており時期も定まっていなかったため、応募資格があるのか不安がありました。また入塾できたとしても、温度差から他の参加者や講師の方へ迷惑をかけるのではと不安がありました。

→小木曾さんにご相談し、不安払拭

Q3. せと・しごと塾の募集を知ってすぐに申し込みましたか? しなかったとしたらなぜですか?

Q1の懸念事項があったため、しばらく迷っていました。

Q5. 入塾してみていかがでしたか?

小木曾さんのお話し通りでした。起業自体の構想は漠然としていても、本気で主体的に取り組みたいという姿勢があれば誰でも参加できる内容であると思いました。大変価値のある内容をほぼ無料で学ばせて頂くことができ、学んだことを社会にお返ししていきたいという思いが一番強いです。

Q7. 塾で自分にとって良かったものは何でしたか?

- ・学び合う風土醸成がされており、効果的に学べるカリキュラムが組まれていたこと。
- ・各分野の専門家から学ぶことができ、多面的に考えられるようになった。
- ・初期のカリキュラムでキャリアデザインや先生のお話を聞いたことで自分に向き合う事ができ、その後の学びを深めてくれました。

Q8. その他(自由記入)

半年間通っておしまいではなくスタート地点とし、卒塾後も基地のような存在であることは、本当に有難いことだと思います。

Q2. 何で「せと・しごと塾」をはじめて知りましたか?

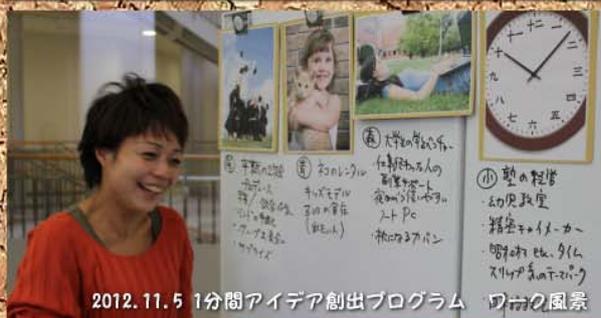
4期生募集時の広報紙(広報せと)

Q4. 何が決め手となって申し込みましたか?

- ①小木曾さんが個別で二時間も割いてくださり、熱く真剣にお話しくくださったことで、入塾を決意しました。
- ②家族の応援を得られたため。
- ③人とのつながりができると説明を受け、瀬戸で生きていく上での支えになると思ったため。

Q6. 入塾して「初めてチャレンジしたこと」「できるようになったこと」「自分に変化が起きたこと」など、なるべく多く書き出してください。

- ・ポジティブになった。不安や悩みを、解決できる問題として考えられるようになった。メンバーや講師の方からマインドを学ばせて頂いたためだと思います。
- ・他のメンバーのプランを共に考え、提案する勇気を持てるようになったこと。
- ・事業計画書作成等に挑戦し、シビアに創業を考えられるようになった。



烏骨鶏の卵を販売『ぼちぼちファーム』 (森田高用)

Q1. 入塾する前にどんなことで悩んでいましたか？

事業計画や資金の借りる方法などに悩みがありました。

Q3. せと・しごと塾の募集を知ってすぐに申し込みましたか？ しなかったとしたらなぜですか？

書類の書き方などは現在安くやってくれる書士の人なんて腐るほどいるしその勉強は必要ないと考えていたので、入りませんでした。

Q5. 入塾してみてもいいかでしたか？

書類の書き方などは勉強になりましたが、それ以上に色々な考え方を吐き出すワークが楽しかったです。それと塾生同士や講師の方とのつながりの強さを感じました。その輪の中に入れたことがよかったと思っています。これからは、色々な仕事やプライベートなどで交流していくと思います。人との出会いの中でしか人生は変えられないので、そのきっかけをつかむことが出来る場所が地元の瀬戸市で提供されているなんて凄い事だと思います。



2012.7.6 『起業の心構え』講座終了後の風景

Q7. 塾で自分にとって良かったものは何でしたか？

いろいろな思考法やワークが多かったのが良かったです。学生時代はまさにそんな感じでしたが、ノートと黒板を行ったり来たりするだけの座学だったらすぐに寝ていたと思います。塾生同士や講師の方が交流しやすいのは新しい考え方や仕事が生まれやすい環境なのですごくいいと思います。

相談日にはいろいろと話に乗ってもらえるのも嬉しいです。講師の方たちで一人一人考え方が違うのでいろいろな意見を聞けるのもすごくいいのではないかと思います。ですが、考え方によってはこれはいろいろな答えが出てくることによって自分の答えが見つからなくなってしまう可能性も出てくるのではないかと思います。私自身は最後は自分で判断するので気にしませんが、なかには自分の考え方を人に奪われる人もいますので、そういう人にとっては、しごと塾に入ると思考停止に陥る方もいるのではないかと思います。

Q2. 何で「せと・しごと塾」をはじめで知りましたか？

最初はコーヒーSAKURAの女西さんが塾長の事を知っていて、当時女西さんは農業塾に通っている事を知っていて、その後にしごと塾ですか？と言われ、『いやいや』と言った記憶があります。その当時は全然入る気はありませんでした。

Q4. 何が決め手となって申し込みましたか？

ウブントウの河合さんから、小木曾さんがいい人だし、今年ならまだいるので、絶対入ったほうが良いと言われたので入りました。しごと塾を知って1年後で資金計画や事業計画なども必要かと考えるようになっていたのでいい機会になりました。

Q6. 入塾して「初めてチャレンジしたこと」「できるようになったこと」「自分に変化が起きたこと」など、なるべく多く書き出してください。

初めてチャレンジしたことはイベント出展です。焼き芋を焼いたり、野菜を販売したりなどのイベント出展は初めてでした。また、最後の事業計画発表会では、あれだけ多くの方の前で話す事も初めてだったので緊張はしたもののいい経験が出来たと思っています。人前で話すことは少人数で話す事よりも得意ではありませんが、意外と人前で話したり大勢の前で話すことに対して抵抗はなくなったのではないかと思います。後は塾の講座の中で無茶ぶりが多いので(笑)いきなり話を振られても上手に話をまとめる事が出来るようになったと感じています。



がん患者さんのための相談窓口 (水野満子)

Q1. 入塾する前にどんなことで悩んでいましたか?

仲間を作ることや、自分の思いを形にするための手順

Q3. せと・しごと塾の募集を知ってすぐに申し込みしましたか? しなかったとしたらなぜですか?

当時は、他に活動していることがあったので

Q5. 入塾してみてもいいかでしたか?

沼山知り合いが出来たし、自分に何が足りないかということを知ったと思う

Q7. 塾で自分にとって良かったものは何でしたか?

- ・グループワーク。ほかの人の考え方はとても新鮮でした。
- ・たくさんの資料。メモすることより理解したり考えたりする時間があった。

Q8. その他(自由記入)

小木曾さんの笑顔が、講座に行く愉しみの一つでした。

Q2. 何で「せと・しごと塾」をはじめで知りましたか?

せと・しごと塾の立ち上げの時の新聞か広報での記事

Q4. 何が決め手となって申し込みましたか?

自分一人では限界があると感じたから

Q6. 入塾して「初めてチャレンジしたこと」「できるようになったこと」「自分に変化が起きたこと」など、なるべく多く書き出してください。

- ・フェイスブックなどIT関連(卒塾翌月は卒塾生のホームページ作成の講座にいきました)
- ・サービスには、原価があること(価格設定の基本を学んだ)
- ・事業計画書の書き方の基本





地域における子供たちの 活動活性化支援組織 (西野憲輝)

Q1. 入塾する前にどんなことで悩んでいましたか？

組織作りのノウハウ、手順を明確化できずに、思い悩んでいた。

Q3. せと・しごと塾の募集を知ってすぐに申し込みましたか？ しなかったとしたらなぜですか？

前年に申し込みようとしたが、締切が過ぎていたことから、今回は気をつけていた。

Q5. 入塾してみていかがでしたか？

- ・主婦が主体であったが、みなさんの事業化の思いに、多くの刺激をもらいました。
- ・小坂塾長をはじめ、いろいろな講師の方々を知る機会が得られてよかった。

Q7. 塾で自分にとって良かったものは何でしたか？

演習が多い内容は、大変によいのですが、時間が短すぎます・・・。

次年度は、ぜひ改善をお願いしたいと思います。小坂塾長のミニ講座などでもう少し時間をかけてさらに進んだ演習ができるといいのですが・・・。

Q8. その他 (自由記入)

カリキュラムの中に、全員の事業計画の内容について、概要作成の段階で全員で検討する機会があると、自分の計画の内容を深く考える機会となり、さらに充実できるのではと思います・・・。

Q2. 何で「せと・しごと塾」をはじめて知りましたか？

町内会の回覧にあった案内のチラシ

Q4. 何が決め手となって申し込みましたか？

課題を解消するヒントが何か見つかることを期待した。

Q6. 入塾して「初めてチャレンジしたこと」「できるようになったこと」「自分に変化が起きたこと」など、なるべく多く書き出してください。

課題の解消の整理は、いまだにできていないが、何とかしたいとの思いは強くなった。



2012. 10. 18プレゼン講座 ワーク風景



無農薬・無化学肥料の農業 『土環自然農園』 (丹羽真一郎)

Q1. 入塾する前にどんなことで悩んでいましたか？

自分の業種自体、なかなか収入が上がらないのは覚悟していましたが、それでも生活していかなければならない為、いかにして収益性を上げていくか。

Q3. せと・しごと塾の募集を知ってすぐに申し込みましたか？ しなかったとしたらなぜですか？

既に起業しており、忙しい時期だったのできちんと出席できるか。

Q5. 入塾してみていかがでしたか？

とても良かったです。他の塾生とのつながり等刺激を頂きました。

事業計画の作成に当たっても、起業する際に作っておらず、自分なりに見つめ直すこともできました。

Q7. 塾で自分にとって良かったものは何でしたか？

既に事業を開始していたので実務的な税務的な講座です。グループワークでの事業計画作りは思っていた以上に楽しくできました。
同期だけでなく、OB塾生との交流も繋がりが増え良かった。

Q8. その他 (自由記入)

小坂塾長をはじめ講師の皆様、小木曾さんをはじめ支えてくださった皆様、OBの皆様、同期の皆様などお世話になった方々に感謝です。本当にありがとうございました。
多くのお客様に私の作った野菜を知って頂けるよう、がんばります！

Q2. 何で「せと・しごと塾」をはじめて知りましたか？

Ubuntuの河合さんのご紹介。

Q4. 何が決め手となって申し込みましたか？

もっと外(表)に出て、自分から積極的につながりを求めてゆこうと思ったから。

Q6. 入塾して「初めてチャレンジしたこと」「できるようになったこと」「自分に変化が起きたこと」など、なるべく多く書き出してください。

多くの人と「積極的に」繋がりをもとうというスタンスになった。



2012.10.18 プレゼン講座 ワーク風景



瀬戸が大好き!『せと焼そば』を全国へ! (檀上里枝)

Q1. 入塾する前にどんなことで悩んでいましたか?

瀬戸焼そばに関わりたいたいと思っていましたが、どのように進めていけばよいのか、まったくわからず行き詰まっていました。

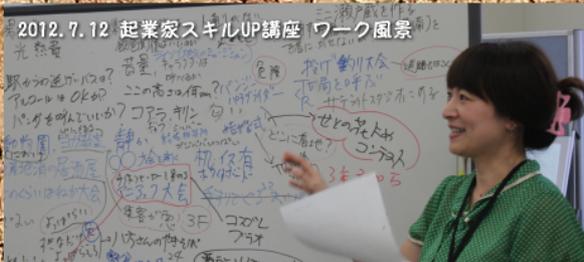
Q3. せと・しごと塾の募集を知ってすぐに申し込みましたか? しなかったとしたらなぜですか?

3月に開催された「起業家セミナー」に参加して申し込みました。

Q5. 入塾してみていかがでしたか?

とても勉強になりました。焼そばに関してはアカデミーもほぼ同時期に立ち上がったのですが、現在自分が瀬戸焼そばに関して動いている部分はしごと塾で勉強したことが行動につながっていると思います。

生まれ変わっても必ずまた入塾を希望いたします。



Q2. 何で「せと・しごと塾」をはじめで知りましたか?

新聞、ラジオ等

Q4. 何が決め手となって申し込みましたか?

どう動いたらよいのか行き詰っていたので「突破口を見つけられるのではないか!」と思い申し込みました。

Q6. 入塾して「初めてチャレンジしたこと」「できるようになったこと」「自分に変化が起きたこと」など、なるべく多く書き出してください。

手をこまねいてばかりいた瀬戸焼そばの商品開発にチャレンジしています。

これは入塾していなければ絶対にあり得なかったこと。とても大きな進歩です!

Q7. 塾で自分にとって良かったものは何でしたか?

小坂先生のOUTPUT講座、そして瀬戸信さんのグループワークでの事業概要発表はかなり勉強になりました。いつでも小坂先生と小木曾さんが気軽に相談に乗ってくださる体制は大変ありがたいものです。

産業センターは心のふるさとです!

Q8. その他 (自由記入)

小坂先生、小木曾さん、本当にありがとうございました。相談、そしてお願いなど、どんなときも全力でサポートして下さり心から感謝しています。特に小坂先生のOUTPUT講座では何人受講するかわからないのに素晴らしい教材を手作りで準備して下さったことが忘れられません。

「心に障害をもつ当事者・家族への支援事業」 (藤井佐登美)

Q1. 入塾する前にどんなことで悩んでいましたか？

拡販ルート、告知方法、補助金や助成金の申請方法など

Q2. 何で「せと・しごと塾」をはじめて知りましたか？

4期生の井上時彦さんから伺いました。それまでは、しごと塾の存在すら知りませんでした。

Q3. せと・しごと塾の募集を知ってすぐに申し込みましたか？ しなかったとしたらなぜですか？

入塾は検討しておりましたが、平日昼間の受講がどこまで可能か（自分の仕事の関係で）心配だったので、ギリギリに応募しました。最後は勢いのみです。

Q4. 何が決め手となって申し込みましたか？

「起業」が私の中で漠然としたイメージしかなく、しごと塾で学ぶことにより、具体的にイメージし事業展開に進めていける、また私自身のモチベーションも今以上に高く持ち続けたかったためです。

Q5. 入塾してみても良かったか？

プレゼンでも伝えましたが、回を重ねる毎に、同期の仲間の存在が私の中で大きくなりました。色んなイベントにも参加し、異業種の方々と知り合えたことは、私の財産となりました。

Q6. 入塾して「初めてチャレンジしたこと」「できるようになったこと」「自分に変化が起きたこと」など、なるべく多く書き出してください。

- ・事業計画書の作成
グループワークでの共同作業からスタートし、自分の事業計画を作成したこと。
- ・事業内容の変更・追加
自分で事業スタートさせた時は、「これでいい」と思っていた内容が、しごと塾に通ううちに悩み始め、最終的には内容を変更、拡大したこと。これは、私の中での嬉しい誤算でした。悩んで迷った末に答えを出させてくれた場所が、しごと塾でした。そして、今でも「これでいい」と満足をしていない自分。この先も悩んで進めていきたいと思えるようになりました。
- ・新しいことへのチャレンジ
プレゼンを通して、講演活動も積極的にしていきたい、と思うようになったこと。

Q7. 塾で自分にとって良かったものは何でしたか？

- ・グループワーク
この作業が色んな人の意見や見方を聞くことができ、毎回収穫をつかめました。そして、自分も仲間の事業に対し、真剣に考え意見を言えるようになりました。
- ・個人相談
とても有り難い時間でした。塾長始め小木曾さんにも適切な言葉を頂き、新しい発見をして持ち帰ることができました。



2012.12.20 事業計画発表会風景

Q8. その他 (自由記入)

約半年に渡り、本当にお世話になりました。自分の仕事との調節で入塾を迷っていましたが、入塾して学べたこと、仲間ができたことに今は感謝しております。そして、この半年間は学びに時間を使ったので、この先は事業展開と、在籍中はなかなか時間の関係で受講できなかったアウトプット講座も時間が許す限り受講していき、更にレベルアップを図ってみたいです。一つ残念なことがあるとすれば、卒塾式のプレゼンの最中に体調不良となり、途中退席し、プレゼンが最後まで聞けなかったことと、卒塾式とその後の飲み会に参加できなかったことが今でも残念に思っております(笑) 昨年は少し無理をし過ぎてしまったので、今年はもう少し仕事を調節して体調管理も怠らず、自分の事業推進に力を注いでいきたいです。また、これから個人相談をさせて頂く機会が増えると思いますので、改めてよろしくお願いたします。

「お年寄りでも気軽に楽しめるヨガ」 (藤原佳子)

Q1. 入塾する前にどんなことで悩んでいましたか？

地域にコネクションもない自分が、やってみたい事をどう伝えていけばいいのかわからない、どう広げていけばいいのかわからない、一人で考え、実行していくことにとても不安を感じていました。

Q3. せと・しごと塾の募集を知ってすぐに申し込みましたか？ しなかったとしたらなぜですか？

いいえ。自分のやりたい事が「起業」という言葉のイメージに合わず、自分自身が“場違い”になるのではないかと不安でした。

Q5. 入塾してみていかがでしたか？

本当に良かったです。勉強させてもらう内容は勿論ですが、普段知り合うことのない創造力豊かな方々と共に過ごす事が出来、とても刺激になりました。

Q7. 塾で自分にとって良かったものは何でしたか？

グループワーク・他分野の先生方の講義・経営理念やマーケティングなどの事業計画の組み立て方等とても充実した内容でした。

Q2. 何で「せと・しごと塾」をはじめて知りましたか？

友人が卒塾生であり、詳しく教えてもらいました。

Q4. 何が決め手となって申し込みましたか？

卒塾生の「絶対ためになるから！！」という強い後押しで。

Q6. 入塾して「初めてチャレンジしたこと」「できるようになったこと」「自分に変化が起きたこと」など、なるべく多く書き出してください。

- ・自分の思考力の拙さを知り、柔軟な思考回路を作るにはトレーニングが必要なことの気付き・先生方や仲間の助言により大切にすべきこと、やるべきことが少しずつ明確になりました。
- ・自己紹介が少しは上手になった気がします。
- ・それぞれ分野は違っても向かっている先は一緒である仲間の存在の気付きが安心感、一歩踏み出す勇気に繋がりました。



2012. 7. 12 起業家スキルUP講座風景

Q8. その他 (自由記入)

卒業後も卒塾生が集う機会を沢山つくって下さい！



瀬戸のご当地キャラクター 『陶神オリバー』で瀬戸を盛り上げたい! (尾方亮)

Q1. 入塾する前にどんなことで悩んでいましたか?

いまやっている仕事にとどまらず、もっと自分の夢に挑戦していきたい。

Q3. せと・しごと塾の募集を知ってすぐに申し込みしましたか? しなかったとしたらなぜですか?

すぐに申し込みました。

Q5. 入塾してみてもいいかでしたか?

あっという間の半年間でした。大変なことも沢山ありましたが、良い思い出も沢山できました。

Q7. 塾で自分にとって良かったものは何でしたか?

- ・人前で発言する機会を多くいただけました。
- ・とくに中間発表や最終発表など、大変よい経験になりました。

Q2. 何で「せと・しごと塾」をはじめて知りましたか?

複数の卒業生から。

Q4. 何が決め手となって申し込みましたか?

卒業生の実績や活躍

Q6. 入塾して「初めてチャレンジしたこと」「できるようになったこと」「自分に変化が起きたこと」など、なるべく多く書き出してください。

- ・同期生や卒業生に囲まれ、夢に挑戦するモチベーションが高くなった。
- ・地元を盛り上げる多くの人とつながりが持てるようになった。





手作りパン、雑貨販売の仕事を通じて、 お母さんの活躍する場を提供したい。 (坊山淑美)

Q1. 入塾する前にどんなことで悩んでいましたか？

お菓子、パン作りを仕事と考えるか、
趣味の延長と考えるか

Q3. せと・しごと塾の募集を知ってすぐに 申し込みしましたか？ しなかったとしたらなぜですか？

最終日(笑)
仕事と考えていいのか悩んだ為

Q5. 入塾してみてもいいかでしたか？

同期のみなさんの目指すところが
とても高く、ヤバイと思った。
しかし、夢を仕事にかえるチャン
スなのかと考え、取り組む決意が
できた。

Q7. 塾で自分にとって良かったものは何でしたか？

グループワークは接点の無い方
と交流する事ができて良かった。

率先して話す事は出来ないが、
話を聞く事が出来た。

Q2. 何で「せと・しごと塾」をはじめで知りましたか？

卒塾生から起業するならココで
教わると良いと聞いた

Q4. 何が決め手となって申し込みましたか？

小木曾さんと話して信頼出来ると思
ったから

Q6. 入塾して「初めてチャレンジしたこと」「できる ようになったこと」「自分に変化が起きたこと」 など、なるべく多く書き出してください。

入塾して5分(最初の2分30秒は緊張
するが、残りの2分30秒)話せる様
になった。

人に相談する様になった
(皆の意見を取り入れたいと思う様
になった)



Q8. その他(自由記入)

卒塾まであっという間だったが、勉強する機会をもらう事が出来た。
これからも勉強するが、恥ずかしがり屋なのでなかなか参加出来ない。
今年はこの恥ずかしがり屋を少し克服したい。

『適食力』を身につける食育スクール (有田聡子)

Q1. 入塾する前にどんなことで悩んでいましたか?

見切り発車で起業してしまったものの、経営の基礎や法律などを全く勉強していなかったこと。周りに同じような境遇の人がおらず相談相手がいなかったこと。

Q3. せと・しごと塾の募集を知ってすぐに申し込みましたか? しなかったとしたらなぜですか?

すぐに申し込みしました。多分一番のようだったと思います(笑)

Q5. 入塾してみていかがでしたか?

本当によかったです。ともに頑張り相談できる仲間に恵まれ幸せです。

Q7. 塾で自分にとって良かったものは何でしたか?

- ・グループワーク。常に頭を必死で使って、みんなでアイデアを出し合う…という作業は本当に良かったと思う。
- ・柴田先生の毒舌? 講座。隠れファンです。(と言った時点で隠れてない。)
- ・卒塾後も遠慮なく相談しにいける、ミニ講座を受けられる。

Q2. 何で「せと・しごと塾」をはじめて知りましたか?

3月に行われたセミナー、山田さんの体験実話

Q4. 何が決め手となって申し込みましたか?

森永さんが「小坂先生が頼りになる人」と言ったこと。

セミナーに参加したときの、卒塾生の方たちの雰囲気。

Q6. 入塾して「初めてチャレンジしたこと」「できるようになったこと」「自分に変化が起きたこと」など、なるべく多く書き出してください。

- ・ブログの更新頻度が前よりあがった
- ・人のことをよく考えるようになった(強み、持ち味、どうしたらうまくいくかな…と)
- ・コラボしようという話が持ち上がった。(グループワークがあったからだと思う。)
- ・瀬戸市に貢献しないと…という気持ちになった。



2012. 7. 10 キャリアデザイン 講座風景

Q8. その他(自由記入)

あっという間の半年間でした。出られない講座もあったりして、学びがまだまだ浅いと思いますが、まず自分に何が足りないのかを知ることができました。

近くに相談できる先生や先輩や仲間や小木曾さんがいて、いろいろ情報交換ができることがわたしにとっては本当にありがたいことでした。お互いに励ましあったり、アドバイスしあったりできる暖かい環境、出会えてよかったです。これからもよろしく願います。

親子のコミュニケーションを提供する パステル画教室 (廣瀬満子)

Q1. 入塾する前にどんなことで悩んでいましたか?

自分の起業の内容がとても小さな事で、会社を立ち上げるわけではなかったので、こんな内容で入塾するのは、恥ずかしいかなど、悩んでいました。

Q3. せと・しごと塾の募集を知ってすぐに申し込みましたか? しなかったとしたらなぜですか?

募集を知ってから一年後、次の年に申し込みました。募集を知った時は、まだ勉強中だったので、応募しませんでした。
(一年後も開かれるのを願って。)

Q5. 入塾してみていかがでしたか?

多くの方と知り合いになれた事が、自分にとって大きなプラスのできごとでした。自分の抽象的な理念を、具体的にやる事ができ、しっかりと第一歩が踏み出せた事が、本当にうれしい事でした。経営の事も不安だったのが、解消できてよかったです。

Q7. 塾で自分にとって良かったものは何でしたか?

グループワークは、大変勉強になりました。他業種の事も深く学ぶ事ができた事がよかった。チラシ作りのワークでは、自分らしさの問いに、深く考えさせられ、長く経営するために大切な事だなと思いました。
起業アップセミナーもいいですね。

Q8. その他 (自由記入)

自分たち五期生だけでなく、他期生の方たちと繋がる事ができ、赤津アートフェスタでは、窯元の方とも仕事ができ、せと・しごと塾の素晴らしさを痛感しました。

本当によい時間がすごせて、次へ進む通気をもらいました。

Q2. 何で「せと・しごと塾」をはじめて知りましたか?

広報せとで知りました。

Q4. 何が決め手となって申し込みましたか?

自分が目指している事が、地域を明るくする為に、地域貢献をしたいということでした。入塾条件に“瀬戸市で地域のためになる事業で”という内容があり、申し込みを決めました。それと、熱い思いを持っているという条件があって。

Q6. 入塾して「初めてチャレンジしたこと」「できるようになったこと」「自分に変化が起きたこと」など、なるべく多く書き出してください。

パソコンを使うことが全くできなかったが、少し使えるようになった事。起業の仕方いろいろあって、経営の続け方も習い、自分に少し自身が持てるようになりました。



2012.12.20 卒塾時事業計画発表会風景

記憶に残る焼菓子をお届けたい 焼菓子工房"RireRire" (高島聖子)

Q1. 入塾する前にどんなことで悩んでいましたか?

起業に関する事、全てです。また自分が何を目的にしているか、何のために起業したいか、何がやりたい事なのか。起業以前に考えなければいけない事も明確ではありませんでした。

Q3. せと・しごと塾の募集を知ってすぐに申し込みましたか? しなかったとしたらなぜですか?

申し込みしたい思いはありましたが、実際書類を提出するのは悩んでいました。起業に対して不明確な理由で大丈夫か不安でした。

Q5. 入塾してみてもいかがでしたか?

しごと塾全てが勉強になりました。勉強とは漠然とした表現ですが、主婦歴が長かった私にとって全てが刺激でした。起業に関する事だけでなく、人前で話をする事、物の考え方、自分の意見をまとめる...

小坂先生、小木曾さん、塾生の方々との出会いは私のこれからの人生において素晴らしい財産になりました。

Q7. 塾で自分にとって良かったものは何でしたか?

小坂先生、小木曾さん、近い距離感で相談に乗って頂けた事です。急な質問や小さな相談も受け入れて下さって、とても感謝しています。

Q2. 何で「せと・しごと塾」をはじめて知りましたか?

2年前の広報せとです。

Q4. 何が決め手となって申し込みましたか?

誰かに相談やアドバイスを受けたのではなく、私自身、以前よりせと・しごと塾が気になっていたもので、トライしてみようと決意しました。

Q6. 入塾して「初めてチャレンジしたこと」「できるようになったこと」「自分に変化が起きたこと」など、なるべく多く書き出してください。

物事を論理的に考える事。人に分かりやすく説明する事。まだまだ苦手ですが、人前で話をする事。趣味であったお菓子作りを仕事にする事。(まだまだ勉強不足です。これから頑張る事が山積みです。)

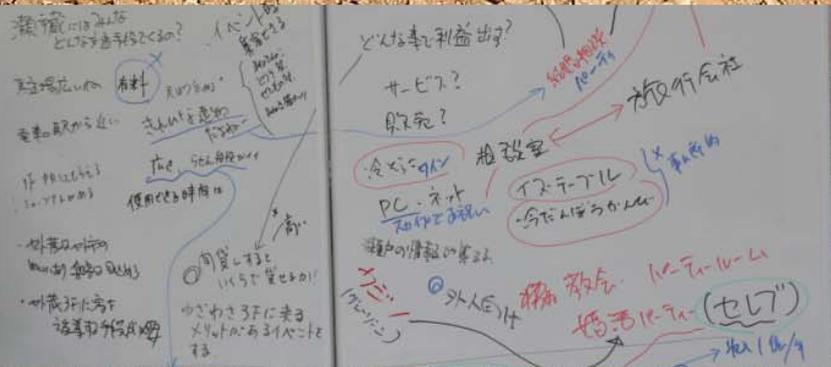
Q8. その他 (自由記入)

私がお菓子を通して色々な事に取り組む事が出来るようになったのは、本当にしごと塾のおかげです。

小坂先生、小木曾さん、先輩塾生の方々、同期の皆さんには感謝しています。私の努力というよりは周りの皆さんのおかげで前に少しずつ進む事ができています。これからもこの関係を大切にしながら頑張っていきたいと思っています。



2012.7.12 起業家スキルUP講座風景





「まちに笑顔を」
せと・しごと塾

